

家庭数

大阪市立育和小学校

令和2（2020）年度 2月号



# 学校だより

日	曜	学 校 行 事	PTA等団体関係行事他
1	月	国際クラブ	
2	火	放課後ひとり学習①⑤⑥	粗大ごみ回収日
3	水		PTA巡視活動 PTA実行委員会(19:30～会議室)→延期
4	木	入学説明会(終日・講堂使用不可) →緊急事態宣言下のため資料配布等のみ	古紙回収日
5	金	放課後ひとり学習②③④	
6	土		
7	日		
8	月	国際クラブ	
9	火	放課後ひとり学習①⑤⑥	
10	水	委員会活動(1～4年のみ5限まで)	PTA巡視活動
11	木	建国記念の日	白鷺中学校制服採寸
12	金	放課後ひとり学習②③④ 発育測定⑥	
13	土		
14	日		
15	月	国際クラブ 発育測定⑤	
16	火	放課後ひとり学習①⑤⑥ 発育測定④	
17	水	クラブ活動 発育測定③	PTA巡視活動
18	木	スクールカウンセリング・発育測定② 卒業遠足⑥(ひらかたパーク)	古紙回収日
19	金	放課後ひとり学習②③④ 発育測定①	
20	土	学習参観・懇談会(土曜授業)→中止	
21	日		
22	月	国際クラブ	
23	火	天皇誕生日	
24	水		PTA巡視活動
25	木		
26	金	学習参観⑥(5限・体育館) 放課後ひとり学習②③④	
27	土		
28	日		

来月の主な行事

- ・3/1（月） 国際クラブ 修了式
- ・3/3（水） 地区こども会
- ・3/5（金） 卒業茶話会 6年生
- ・3/10（水） なかよし学年末のつどい
- ・3/19（金） 卒業式
- ・3/24（水） 修了式

## 1月中の主な出来事



1/7に、始業式がありました。3学期は少し短いですが、6年生にとっては最後の学期ですので、一日一日を大切に過ごしてほしいです。今年は素敵な一年になってほしいですね。



3年生のみなさんが、学校で書き初めを行いました。お手本を見ながら、「明るい心」と丁寧に清書しました。



1/12～14に、3～6年生を対象に大阪市学力経年調査がありました。教科は国語、社会、算数、理科です。今年度から5・6年生のみ英語も追加され、真剣に取り組んでいました。

## お知らせ

先日、手紙でお知らせした通り、2月20日の土曜授業（学習参観・懇談会）は中止します。また、2月4日の入学説明会（新1年生保護者対象）は資料と標準服の引き渡し、学用品販売のみ行う予定です。（詳しくはHPに）

本校にきょうだい関係のない、お知り合いの方へも知らせていただけると幸いです。



# 校長室だより



## 水仙や 寒き都の ここかしこ（感謝篇）

大寒が過ぎ、節分あたりまで一年で最も寒い時期になります。早いものでもう【如月(きさらぎ)】です。この語源は、寒い時に着物を更に重ねて着ることから「衣更着(きさらぎ)」と言うようになったようです。

今年は、2日が節分になります。節分は、本来は季節を分けるという意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。特に立春が一年の始めだからということから、節分といえば春の節分を指すものとなってきたようです。日本の伝統的な行事には昔の人々のさまざまな知恵や願いがつまっています。コロナ禍の渦中ですが、ご家庭でも豆まきなどを子どもたちと一緒に行なっていただき、今こそご家族の絆を深める機会にしてほしいですね。

そして、3日はもう立春です。今年は、明治30年以来124年ぶりに、立春が4日から3日になりました。



「よくできたね」とほめるのではなく。  
「ありがとう、助かったよ」と感謝を伝えるのだ。

～「人生に革命が起きる100の言葉」～アルフレッド・アドラー

子どもたちの自尊感情を高めることはとても重要なことです。まず自分を大切にする気持ちがないところに他者を大切にする気持ちが育つことはないはずです。その自尊感情を育てるために、オーストリア出身の心理学者であるアルフレッド・アドラーは、著書の中で次のように述べています。

～親や教師が子供の「共同体感覚」を高めるためには、自己信頼と他者信頼の体験を積ませることから始めてはなりません。具体的には、子供に協力を求め、それに対して感謝の言葉を伝えるのです。感謝されれば誰でも嬉しいものです。そして、自分が行った貢献に対して感謝が返ってきたときに初めて人は自己効力感が満たされ、自己信頼を感じます。同時に相手に対しても信頼感をもつ。すなわち他者信頼も芽生えるのです。

「感謝する」と「ほめる」のは違います。例えば、子供が片付けのお手伝いをしたときに、「ありがとう。とても助かるよ」と言うのと、「偉いね。よくできたね。」というのでは、受け取る際の印象が違うことがおわかりでしょう。「感謝」は横から目線。「ほめる」は上から目線です。・・・・・上から目線で「ほめられる」よりも横から目線で「感謝される」ことが自己信頼と他者信頼にははるかに有効です。貢献と感謝の体験を増やすことが共同体感覚を養う上で最も大切なことです。～

さて、今年度もいよいよ終盤になってきました。まとめの時期です。これまで学校教育目標「力強く生きぬく力をはぐくむ教育活動を推進する」に向けて、全教職員が「チーム育和」として“ONE TEAM”となり、力を合わせ、一人ひとりの子どもたちの教育活動を推進してまいりました。次のステップへさらにジャンプアップできるよう指導していきたいと考えています。

校長 植村 仁